

年頭に あたって

公益社団法人
地域医療振興協会 理事長
吉新通康



新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、JADECOM-NKP（地域医療振興協会・野口医学研究所共同研修プログラム）の事業開始、ハワイ大学との交流、OHSU（オレゴン健康科学大学）からの教員の招聘、協会レジデントのOHSUでの研修と、アメリカとの交流の盛んな年でした。国際交流において今後は、フィラデルフィアのトーマス・ジェファソン大学と、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ技師、事務等の交流を進め、さらに JCI（国際医療機能評価）認定取得病院を目指して準備を進めていきたいと考えています。

施設運営では、横須賀市立市民病院、伊豆下田病院および5つの診療所の運営開始などがありました。

平成24年開校予定の看護学校、平成23年4月から予定しているフライングドクターサービスなどの準備も行われ、順調にいけば春から九州の島々を結ぶ、医師の定期便が飛ぶこととなります。代診支援では、北海道の道東への支援が盛んに行われるようになりました。

残念なこともありました。協会が指定管理を受けていた共立湊病院の指定期間後の指定管理者選定をめぐる大揺れの状況が続きました。国立病院時代も含めると17年間、協会は共立湊病院の運営にいろいろな形でかかわってきましたが、指定管理者としては、行政や議会との関係で幾度となく難しい局面を経験することとなってしまい、事業を継続しない決断をしました。このため、共立湊病院の職員および関係者の皆様は大変なご心配、ご苦労をかけることとなってしまいました。ここに改めてお詫びを申し上げ、今後の事業の継続、運営に全力で当たる覚悟であることをお伝えします。今後は施設での管理運営協議会のあり方、運営の方法などに細心の注意を払うべきだと考えています。

さて、本年は兎年、ピョンピョン、3段跳び、5段跳びと飛躍したいものです。昨年から始まった28の協会内委員会が大活躍する年だと思います。

会員、職員の皆様、そして関係者の方々の強力なご支援、ご理解をお願いします。